

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3、地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2並びに三木市財政事情文書の作成及び公表に関する条例（昭和30年三木市条例第27号）の規定により、平成30年度決算の状況及び令和元年度上半期の財政事情を次のとおり公表します。

令和元年11月29日

三木市長 仲田一彦

## 平成30年度決算の状況

### 1 一般会計

一般会計の収入と支出の差引額は約2億7,411万円となり、翌年度繰越額を差し引いた実質収支として、約5,097万円の黒字を確保しました。

【単位：千円】

区 分	平成30年度 決算額 A	平成29年度 決算額 B	差 引 (A-B)
収 入 額 ①	31,098,921	33,449,813	△ 2,350,892
支 出 額 ②	30,824,809	33,237,254	△ 2,412,445
差 引 (① - ②) ③	274,112	212,559	61,553
翌年度へ繰り越すお金④	223,138	111,335	111,803
収支額 (③ - ④) ⑤	50,974	101,224	△ 50,250

## 2 特別会計

特別会計については、国民健康保険特別会計で1,859万円の赤字決算、その他全ての会計で黒字決算となっています。

【単位：千円】

区 分	平成30年度					(参考) 29年度 収支額
	収入総額 A	支出総額 B	差 引 C=A-B	翌年度へ繰 り越すお金 D	収支額 E=C-D	
国民健康保険	9,658,658	9,677,248	△ 18,590	0	△ 18,590	107,274
介護保険	7,013,452	6,723,011	290,441	0	290,441	318,355
農業共済事業	75,544	75,519	25	0	25	9
後期高齢者医療事業	1,280,103	1,251,862	28,241	0	28,241	34,224
学校給食事業	274,872	272,255	2,617	0	2,617	708
合 計	18,302,629	17,999,895	302,734	0	302,734	460,570

## 3 企業会計

水道事業会計、下水道事業会計の収益的収支は、黒字を確保しています。

【単位：千円、税抜き】

区分		平成30年度			平成29年度	収支増減額 C-D
		収入総額 A	支出総額 B	差引収支額 C=A-B	差引収支額 D	
水道事業	収益的収支	1,851,209	1,549,535	301,674	320,451	△ 18,777
	資本的収支	134,850	491,848	△ 356,998	△ 262,522	△ 94,476
下水道事業	収益的収支	2,550,244	2,370,681	179,563	95,060	84,503
	資本的収支	1,586,854	2,366,322	△ 779,468	△ 637,373	△ 142,095
合 計	収益的収支	4,401,453	3,920,216	481,237	415,511	65,726
	資本的収支	1,721,704	2,858,170	△ 1,136,466	△ 899,895	△ 236,571

## 令和元年度上半期の財政事情

### 1 一般会計予算の概要及び執行状況(令和元年9月末現在)

#### (1) 予算の概要

一般会計予算は、民生費、土木費、教育費など市の行政運営の中心となる会計です。

令和元年度の当初予算額は327億2千万円で、前年度に比べて3.5%増加しています。その後、2回の補正を加えた9月末現在の予算額は約343億4千万円で、前年同時期と比べて約2%増加しています。

なお、繰越明許費繰越額が前年度より約10億円の増加となっていますが、これは平成30年7月豪雨や台風により被災した施設等の復旧工事の多くが年度内に完了せず、翌年度に繰り越したことが原因です。

一般会計の予算額は、〈表1〉のとおりです。

〈表1〉 一般会計予算額

【単位：千円】

	令和元年度 予算額	平成30年度 予算額
当 初 予 算	32,720,000	31,610,000
6 月 補 正	32,102	17,299
7 月 専 決	—	114,750
8 月 専 決	—	66,000
9 月 補 正	48,208	1,373,220
繰越明許費繰越額	1,544,098	503,683
事故繰越し繰越額	—	—
合計（予算現額）	34,344,408	33,684,952

(2) 歳入予算の執行状況

歳入は、予算額約343億4千万円に対し、収入済額は約137億2千万円で、予算額に対する収入率は40%となっており、前年同時期とほぼ同程度の収入率となっています。残りの未収入額については、今後、事業の完了とともに、順次収入される見込みです。

また、国県支出金、市債及びその他収入については、事業の完了後、令和2年4月から5月にかけて収入される予定です。

歳入予算の執行状況は、〈表2〉のとおりです。

〈表2〉一般会計歳入予算の執行状況（9月末現在）

【単位：千円】

	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	収入済額	収入率
1 市 税	11,208,977	6,531,578	58.3%	11,107,667	6,367,444	57.3%
2 地方譲与税	249,300	73,153	29.3%	267,000	68,926	25.8%
3 地方特例交付金	160,100	77,784	48.6%	58,000	57,484	99.1%
4 その他交付金	2,214,000	1,064,326	48.1%	2,273,000	1,077,626	47.4%
5 地方交付税	5,600,000	3,410,051	60.9%	5,380,000	3,343,700	62.2%
6 分担金及び負担金	55,883	15,756	28.2%	73,611	21,320	29.0%
7 使用料及び手数料	417,892	136,665	32.7%	398,588	137,991	34.6%
8 国県支出金	7,485,395	1,628,540	21.8%	6,939,553	2,172,983	31.3%
9 市 債	3,710,080	25,300	0.7%	3,886,200	14,700	0.4%
10 その他収入	3,242,781	762,808	23.5%	3,301,333	513,159	15.5%
合 計	34,344,408	13,725,961	40.0%	33,684,952	13,775,333	40.9%

※「その他収入」には、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金及び諸収入が含まれています。

(3) 歳出予算の執行状況

歳出は、予算額約343億4千万円に対し、支出済額は約126億4千万円で、執行率は36.8%となっており、前年同時期と比べて2.2%上がっています。

歳出予算の執行状況は、〈表3〉のとおりです。

〈表3〉一般会計歳出予算の執行状況（9月末現在）

【単位：千円】

	令和元年度			平成30年度		
	予算現額	支出済額	執行率	予算現額	支出済額	執行率
1 議会費	217,505	110,299	50.7%	218,320	111,076	50.9%
2 総務費	3,409,811	1,307,900	38.4%	3,313,230	1,244,917	37.6%
3 民生費	12,596,683	4,417,554	35.1%	12,150,665	4,359,528	35.9%
4 衛生費	2,044,438	709,218	34.7%	1,981,822	663,239	33.5%
5 労働費	132,769	112,469	84.7%	150,815	131,780	87.4%
6 農林業費	798,018	275,264	34.5%	808,411	86,559	10.7%
7 商工費	1,454,859	926,594	63.7%	1,513,795	1,070,223	70.7%
8 土木費	2,387,800	410,197	17.2%	2,400,033	555,690	23.2%
9 消防費	1,073,524	471,128	43.9%	1,065,692	450,331	42.3%
10 教育費	3,183,704	1,148,931	36.1%	3,076,731	1,123,316	36.5%
11 災害復旧費	1,085,512	206,968	19.1%	1,402,640	54,701	3.9%
12 公債費	4,073,450	1,600,690	39.3%	3,726,926	856,112	23.0%
13 諸支出金	1,859,001	942,471	50.7%	1,850,001	937,653	50.7%
14 予備費	27,334	0	0.0%	25,871	0	0.0%
合計	34,344,408	12,639,683	36.8%	33,684,952	11,645,125	34.6%

## 2 特別会計予算の執行状況

特別会計予算は、特定の歳入（保険料等）をもって特定の歳出に充てていることを明確にするために、一般会計と区分している会計です。

令和元年度は、国民健康保険特別会計をはじめ5つの特別会計を設けています。

特別会計予算の執行状況は、〈表4〉のとおりです。

〈表4〉 特別会計予算の執行状況（9月末現在）

【単位：千円】

	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
1 国民健康保険	9,416,000	3,069,794	32.6%	3,026,945	32.1%
2 介護保険	7,372,441	2,912,403	39.5%	2,757,910	37.4%
3 農業共済事業	108,000	24,562	22.7%	25,069	23.2%
4 後期高齢者医療事業	1,386,000	497,079	35.9%	417,762	30.1%
5 学校給食事業	290,000	121,468	41.9%	91,513	31.6%
合計	18,572,441	6,625,306	35.7%	6,319,199	34.0%

### 3 企業会計予算の概要及び執行状況(令和元年9月末現在)

企業会計予算とは、事業の性格上、企業としての経済性を発揮しながら運営する必要がある会計で、水道事業会計及び下水道事業会計の2つの会計を設けています。

各事業の予算額と執行状況は、〈表5〉のとおりです。

〈表5〉 企業会計予算の執行状況（9月末現在）

【単位：千円】

			予算現額 A	執行額 B	執行率 B/A
水道事業	収益的収支	収入	1,992,948	970,174	48.7 %
		支出	1,781,511	763,525	42.9 %
	資本的収支	収入	133,786	87,628	65.5 %
		支出	1,152,804	155,993	13.5 %
下水道事業	収益的収支	収入	2,632,288	1,212,747	46.1 %
		支出	2,626,612	1,182,086	45.0 %
	資本的収支	収入	1,686,799	178,103	10.6 %
		支出	2,570,861	1,016,400	39.5 %

※執行額には、消費税額等が含まれています。

#### 4 市債及び一時借入金の現在高

市の財政は、道路、公園、下水道、学校、福祉施設などの公共施設の整備に多額の資金を必要とするため、事業費の一定割合については、国や銀行などから資金を借り入れることにより事業を進めています。

この借入金である市債の発行により、将来にわたって公共施設を利用される市民の皆様にもその償還額を負担していただけるため、世代間の負担の公平を図ることができます。

令和元年9月末現在における市債の現在高は、〈表6〉のとおりです。

〈表6〉 市債の現在高

【単位：千円】

	令和元年9月末		平成30年9月末	
	現在高	市民1人当たり現在高 人口 77,291人	現在高	市民1人当たり現在高 人口 77,969人
一般会計	37,354,048	483.3	37,581,244	482.0
水道事業会計	0	0.0	0	0.0
下水道事業会計	20,448,911	264.6	21,163,454	271.4
合計	57,802,959	747.9	58,744,698	753.4

※人口は、各年9月末日現在のもの。

(2) 一時借入金の現在高

一時借入金とは、一会計年度内において歳計現金が不足した場合に、収支の均衡を保つために、その不足分を民間から一時的に借り入れるものをいいます。

令和元年9月末における一時借入金の状況は、〈表7〉のとおりです。

〈表7〉 一時借入金の現在高

【単位：千円】

会計名		令和元年度9月末
一般会計及び特別会計		(0) 0
企業会計	水道事業会計	(0) 0
	下水道事業会計	(0) 0

※（ ）内は、基金からの繰替運用の金額を示します。

5 市有財産の状況

土地、建物、基金等の財産の状況は、〈表8〉のとおりです。

〈表8〉 市有財産の状況

土地	4,072,996 m <sup>2</sup>
建物	325,525 m <sup>2</sup>
有価証券	157,380 千円
出資による権利	500,063 千円
基金	7,119,353 千円

※平成30年度末現在

## 6 市民の負担の状況

市民の皆様に係る行政経費等の状況は、〈表9〉のとおりです。

〈表9〉 市民の負担の状況

一般会計予算現額及び市税予算額を各年9月末現在の世帯数及び人口で割った数

	令和元年9月末	平成30年9月末
1世帯当たりの行政経費	1,014,336 円	1,002,588 円
1世帯当たりの税負担額	331,049 円	330,605 円
1人当たりの行政経費	444,352 円	432,030 円
1人当たりの税負担額	145,023 円	142,463 円

平成30年9月末 世帯数 33,598 世帯 人口 77,969 人  
令和元年9月末 世帯数 33,859 世帯 人口 77,291 人